

子育てハンドブック ～楽しく子育て～



にこにこ

わくわく



吹田市

も く じ



はじめに P1

子どもの権利条約・児童憲章 P2

第1章 にこにこ子育て

誕生・首のすわりから寝返りへ	P4
ハイハイからおすわりへ	P6
つかまり立ちから伝い歩きへ	P8
1歳から2歳のころ	P10
2歳から3歳のころ	P12
3歳から4歳のころ	P14
4歳から5歳のころ	P16
5歳から就学のころ	P18



第2章 わくわく子育て

健康	P20
食事	P24
絵本	P26

はじめに…



子どもは自ら育つ力を持っています。

にこにこ・わくわく楽しく子育てしましょう。

身体、運動、ことば、心、人との関わり…子どもの育ちには個人差があります。けれども、どの子どももみんな自ら育つ力を持っています。子育てに関する情報はたくさんあり、悩むこと迷うこともあると思いますが、子どもの気持ちに寄り添い、あせらず楽しく子育てしましょう。

この冊子は、子どもの育ちとその年齢で大切にしたいことをまとめています。ご家庭で活用してください。

悩んだ時は近くの保育園、幼稚園、認定こども園、療育施設や各種の電話相談へ気軽にご相談ください。





子どもの権利条約



(児童の権利に関する条約)

平成元年（1989）年、国際連合総会で「子どもの権利条約」が採択されました。日本は、平成6年（1994）年に批准しています。この条約は、18歳未満の子どもたちが対象で、守るべき子どもの権利を次の4つにまとめています。国や自治体、大人は子どもの権利を守るため努力しましょう。



生きる権利

防げる病気などで命を奪われないこと。
病気やけがをしたら治療を受けられることなど。

育つ権利

教育を受け、休んだりあそんだりできること。
考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができることなど。





守られる権利

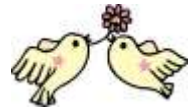
あらゆる種類の虐待や搾取から守られること。
障がいのある子どもや、少数民族の子どもなどは特別に守られることなど。



参加する権利

自由に意見を表し、集まってグループを作り、自由な活動ができることなど。

児童憲章



子どもを社会の一員として尊重する考え方は日本国憲法に定められている基本的人権の一部です。特に子どもが幸せに暮らし育てられるべきであることを宣言するものとして昭和26年（1951）年に「児童憲章」が定められました。

児童は、人として尊ばれる

児童は、社会の一員として重んぜられる

児童は、よりよい環境のなかで育てられる



誕生・首のすわりから寝返りへ

～赤ちゃんは泣いて知らせるよ～



からだの育ち

- 動くものを目で追うようになります。
- 寝返りができるようになります。
- 手足をさかんに動かし、物をさわり、なめて遊ぶようになります。



こころの育ち・ 人のかかわり

- 眠い・お腹がすいた・暑いなどを泣いて知らせます。
- あやされると声をだして笑い返します。
- 「あーうー」と呼びかけるような声を出します。

スキンシップはコミュニケーションの始まりです

おむつを換えるときに顔を見て、足やお腹を優しくさすってスキンシップをしましょう。おっぱいやミルクの時も、笑顔を向けながら言葉をかけて抱っこして飲ませましょう。赤ちゃんがにっこり笑ってくると、大人も幸せになりますね。こうしてコミュニケーションが生まれ心が豊かに育っていきます。

テレビやビデオなどの機械からの音は一方的なのでできるだけ避け、子どもに向かい合い声をかけてあげましょう。



あそび

ふれあって遊びましょう

赤ちゃんは大人の温かいまなざしや声、肌のふれあいで安心します。機嫌のよい時に優しく言葉をかけふれあって親子で遊びましょう。「いないないばあ」と声をかけ、おもちゃを使ってあやしてもいいですね。



腹ばいで遊びましょう

首がすわると、腹ばいで一緒に遊ぶ時間を作りましょう。腕や胸などの筋肉を強くします。



せいかつ



昼と夜の区別ははっきりしません。少しずつ、寝る・飲む・遊ぶ・寝るのくりかえしの生活を作っていきます。



見る・聞く・触れる・なめる・においを感じるなどいろいろな刺激を受けて成長していきます。部屋の中ばかりでなく刺激がたくさんある戸外に出ましょう。

乳幼児突然死症候群（SIDS）発症の危険性を低くしましょう

乳幼児突然死症候群は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

<厚生労働省 SIDS 発症率を高める3つの因子より>

- うつ伏せ寝は避けましょう
- できるだけ母乳で育てましょう
(人工乳がこの疾患の原因ではありません)
- たばこはやめましょう





ハイハイからおすわりへ

～近づきたい さわりたい～



からだの育ち

- ハイハイができるようになります。
- 物に手を伸ばして取ろうとします。
- 物を持って遊び、持ち替えるようになります。
- ハイハイの姿勢からおすわりができるようになります。



こころの育ち・ 人とのかかわり

- 大好きな大人に甘え、後追いが始まります。
- 知らない大人の顔を見つめます。



ハイハイは身体の土台をつくります



ハイハイをすることで腕、足、腰の力が強くなり、背骨がしっかりしてきます。立たせることを焦らないで、広い場所でハイハイを十分させるため、この時期だけでも物を片付けるなど工夫しましょう。好奇心いっぱい、人や物に興味を持ち、触れる物をなめて確かめます。口に入る小さな物は、誤飲の危険があるので気をつけましょう。

あそび



一緒にハイハイしましょう



動けるようになると周りにある物に「これ何だろう」と動き、目が離せなくなります。

「ダメダメ」ばかりではなく、一緒にハイハイで「まてまて」と追いかけたり、ボールをハイハイで追いかけるなど遊びましょう。

物に隠れて「ばあ」と出てくるあそびも大好きです。



せいかつ



睡眠のリズムは、大人がつけてあげましょう

昼間の時間にしっかりと活動し、決まった時間に食事をし、夜は早く眠る生活リズムを作っていくことが大切です。夜眠っている間に、成長に大切なホルモンの分泌が増大されます。

この時期の夜泣きは…

単発的な場合と長期的な場合があります。理由ははっきりしませんが、成長に合わせた感情の表れとも言われています。翌朝になって熱などなく様子が変わらなければ気にしないでいいでしょう。

夜泣きをされると大変ですが、静かに優しく抱きしめ安心させてあげましょう。

一時期のことも多く成長とともになくなるでしょう。





つかまり立ちから伝い歩きへ

～やってみたい 見てみたい～



からだの育ち

- つかまりやすいものがあると、つかまって立とうとします。また、伝い歩きをします。
- 手さし、指さしができるようになります。
- 小さい物もつまむことができるようになります。



こころの育ち・ 人とのかかわり

- 大人が指をさしたのを見るようになります。
- バイバイやチョウダイができるようになります。

人見知り・後追いは心の成長です

人見知り・後追いは、特定の人への「大好き」という感情が育ち、親しい人とそうでない人の区別ができるようになる大きな心の成長です。親しい人には、笑顔と声をだして喜びを表し、見知らぬ人には、大泣きをし親しい人を求めます。人に対して安心感、信頼感が持てるよう言葉かけをし、抱っこや一緒に遊び不安を解消しましょう。又、後追いも激しくなり、少しの時間でも親しい人が見えなくなると大泣きをされ大人は困りますが、心の成長ですので「ここに居るからね」と安心感を持たせましょう。



あそび



親子で遊みましょう

お座りができるようになり、いろいろなおもちゃで遊べるようになります。歌に合わせて身体を揺らすあそびも大好きです。一緒に遊んでくれる人がいると楽しくなり、人への気持ちが育ちます。

音の出るおもちゃ



引っ張り出すおもちゃ



入れたり出したりするおもちゃ



ミルクの缶やペットボトルで工夫して作ってみましょう。

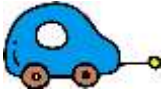
せいかつ



転倒や危険防止の配慮をしましょう

ハイハイや伝い歩きができるようになると、興味や関心が広がり、高いところがあると登ろうとして、バランスをくずし転倒する危険があります。すぐに「ダメ」とやめさせるのではなく、やりたい気持ちを満足させましょう。危険な所がないか、子どもの目線で部屋の中を点検し、自由に遊べるスペースを確保しましょう。





1歳から2歳のころ

～たち あんよ 世界が大きく広がるね～



からだの育ち

- ひとり立ちから歩けるようになります。
- コップ、スプーンが使えるようになります。



ことばの育ち

- 指さしでやってほしいことを教えるようになります。
- 意味のあることばが言えるようになります。



こころの育ち・ 人とのかかわり

- ほめられることを喜び、繰り返しを楽しむようになります。
- 大人や友達に興味を持ち、まねっこをするようになります。
- おもちゃなど友達の物も取りにいき一人占めしようとしめます。
- 自我が芽生え「イヤイヤ」「ジブンデ」と主張します。

指さしはことばの始まりです

指さしにはたくさんの意味が込められています。発見した事や要求などを指さして伝えます。大人は、意味をくみとり言葉にして返しませう。言葉を覚えていく第一歩です。



あそび

- ・溝を歩く、少し高いところに登る、降りるなど繰り返します。
- ・手押し車や箱を押すことが好きです。
- ・大人の真似をして袋やカバンを持って歩きます。
- ・絵本、歌など一緒に楽しみましょう。



たたく、かみつくのはなぜ？

気持ちをことばで上手に表現できないので、たたく、かみつくなどが見られます。相手を傷つけてしまうので親にとってはつらい事でしょう、しかし、必要以上に子どもを叱ってしまうことはマイナスです。親のしつけが悪いわけではありません。「××したかったの？」と子どもの気持ちを受け止め「〇〇ちゃんは嫌だったんだって」



「貸してねと言おうね」「順番だからね」と気持ちの整理をしてあげましょう。



せいかつ

- ・自分で食べたい気持ちを大事にしましょう。
- ・トイレの習慣をつけましょう。
目覚めたら少しの時間でもオマルに座らせましょう。
- ・動きやすい服や靴を用意しましょう。



メディア漬けに注意！！

日本小児科学会で「2才以下の子どもにはテレビ・ビデオを長時間見せないようにしましょう」と提言が出されています。調査の結果、長時間テレビを視聴している子は、表情が少なくなり生活も乱れてくると言われています。言葉の遅れも明らかになっています。



2歳から3歳のころ

～「ジブンデ！」何でも自分でやりたいね～



からだの育ち

- しっかり歩けるようになります。
- 走る、跳ぶ、登る、飛び降りる、などいろいろな動きができるようになります。



人とのかわり

- 友だちと遊びたい気持ちが強くなります。
- 何でも大人の真似をしたがり、ごっこ遊びが盛んになります。

こころの育ち

- 「イヤイヤ」「ジブンデ」と自己主張が強くなりますが、まだ一人ではできないことが多いのでだだこねが見られます。

ことばの育ち

- 単語で経験が話せます。
- 大きい小さいなどがわかります。

子どもの気持ちを受け止めましょう



自分の気持ちをうまく表現できないので、何でも「イヤ」と自己主張が強くなり、自分を尊重してほしい気持ちがいっぱいです。この時期は「〇〇したかったのね」と、まずは子どもの気持ちを受け止めてあげましょう。「どっちがいいの？」と選べるような言葉かけをしてあげ、芽生えた自我の育ちを応援しましょう。大人の言葉で納得できるようになるのはもう少し大きくなってからです。

あそび

外であそびましょう

外あそびは足腰が丈夫になるだけでなく、いろいろなものを見て、聞いて、触れて、匂いをかいで周りの世界を感じる事ができます。大人と違って、行き慣れたコースや近所の公園は、「ここは知っている」「こうしたい」と期待が膨らみ慣れた所で安心して遊びます。子どものペースに付き合い「きれいね」「楽しかったね」と一緒に感動しましょう。



ままごと大好き

大人に憧れ、まねっこが盛んになります。砂場でもままごとが大好きで、料理を作っているつもりで繰り返し遊びます。



せいかつ

やりたい気持ちを大切にしましょう

- スプーンを持たせ、自分で食べるようにしましょう。
- オムツをはずしてパンツですごしましょう。
- ボタンをはめたり、着替えを自分でさせてみましょう。
- バギーから降りて歩かせましょう。



「甘えさせる」けど「甘やかさない」ように「ジブンデ」と主張もしっかりし、ぎこちなくても自分でやりたがります。大人の都合で時間がないから、まだできないだろうと手を出して甘やかすと子どものプライドは傷つきます。しかし時々甘えてやって欲しい時もあります。その時は「できるでしょ」と突き放さないで気持ちをくみとり甘えさせることも必要です。



3歳から4歳のころ

～「みてみて！」ほこり高き3歳～



からだの育ち

- ケンケンができるようになります。
- 三輪車に乗れるようになります。
- お箸が使えるようになります。

人とのかかわり

- 仲よしの友だちができます。
- 自己主張が強くなり、友だちとケンカが多くなります。

こころの育ち



- 自信满满で、何でも一番にやりたい気持ちが育ってきます。
- まわりの事に興味が広がり「なんで？」とよく質問するようになります。

ことばの育ち

- 自分の名前が言えるようになります。
- 女の子・男の子がわかってきます。
- おしゃべりが上手になり、会話ができるようになります。

反抗期と言われる時期です



一人前意識が強くなり、自信满满の時期です。いろいろな場面で自分で決めたいので、大人が言うことは命令されているようで嫌がります。なるべく手をかけず待ってあげましょう。「すごいね」「助かるわ」と上手にほめながら付き合きましょう。

あそび

公園に行って遊びましょう

身体の使い方が上手になり、いろいろな固定遊具で遊べるようになります。
同時に手先も器用になってきます。



- 公園の遊具（ブランコ・すべり台・ジャングルジムなど）
- 三輪車、ボールあそび
- 砂あそび・水あそび
- 虫とり、草花つみなど



せいかつ



見守る事が大切です

個人差はありますが、自分のことは自分でできるようになります。大人は手を出さないで、見守りましょう。

テレビは時間を決めて見ましょう



食事の時はテレビを消して1日の出来事などを家族でおしゃべりするといいですね。一緒に絵本を読んだり、かかわって遊ぶことで、ことばも心も大きく育ちます。
テレビなど「作られた世界」ではなく、実体験を大事にしましょう。



4歳から5歳のころ

～友だち大好き、遊ぶの大好き！～



からだの育ち

- ・スキップや縄跳びなどできるようになります。
- ・手先も器用になり、はさみが上手に使えます。折り紙やこま回しができます。



人とのかかわり

- ・仲良し数人でルールのある集団あそびが楽しめます。
- ・友だちに認められることで自信がつかます。

こころの育ち

- ・自分の気持ちを抑え、少し我慢ができるようになります。
- ・できる、できないが気になり、恥ずかしがったり自信をなくしたりもします。

ことばの育ち

- ・いつ・どこで・だれと・どうしたと筋道を立てて話せるようになります。
- ・考える力がつき、自分を正当化する言葉（言い訳）も多くなります。

ケンカの中で相手の気持ちに気づきます



ケンカの中でお互いの気持ちを出し合い、ことばで思いが伝えられるようになり、相手の思いにも気づいていきます。大人がすぐに口出ししないで、見守りましょう。

子ども同士で解決できない時は仲立ちしてあげましょう。

あそび



身体を使って遊びましょう

友だちとのルールのある集団あそびが好きになり、鬼ごっこなどを楽しみます。友だちとかかわって遊び、ケンカしたり仲直りしたりという体験を積み重ねながら社会性が育ちます。

大型遊具のある公園や自然の中に友だちの家族を誘って出かけると、子どもは全身をしっかりと使ってあそび、大人の交流もできます。

伝承あそびも楽しいよ

家族や友だちと一緒に遊びましょう。
集中力や工夫して遊ぶ力が育ちます。



折り紙・あやとり



こま回し



カルタ・すごろく



せいかつ

自分のことは大体自分でできるようになります。

手伝いも社会性を育てます

家族の一員として食事の準備や洗濯ものをたたむ、新聞をとりに行くなどの手伝いをさせてみましょう。

子どもはあてにされると張り切ってやり、満足し、自信につながります。又、保育園や幼稚園の準備など自分のことは自分でするようにさせてみましょう。





5歳から就学のころ

～友だちと一緒に挑戦、やってみよう～



からだの育ち

- しなやかな動きができるようになります。
- 自転車に乗れるようになります。
- 手が巧みになり、細かい作業ができるようになります。



人とのかかわり

- 友達の気持ちがわかるようになります。
- ルールを守り、楽しく遊べるようになります。
- ケンカやトラブルを解決しようとしています。

こころの育ち

- 憧れや願いをもち挑戦する気持ちが育ちます。
- 期待されていることに応え頑張ろうとする気持ちが育ってきます。
- 自分の気持ちをコントロールできるようになります。

ことばの育ち

- 人の話を聞き自分の考えを言えるようになります。
- 時間・数・文字等に関心を持つようになります。
- 自然・社会現象にも関心を持つようになります。

知的好奇心はあそび・生活の中で育ちます



友だちと一緒に遊べるかるた、トランプ、しりとりあそびやルールのある集団あそびの中で、文字や数への興味が育ち、理解していきます。おやつを分ける、食器を並べるなどの手伝いやお風呂で数をかぞえるなど生活のなかで数と量のことを理解していきます。文字や数はいろいろな体験により覚えてこそ本物です。いきいきとあそび、楽しく生活しましょう。

あそび

子どもは失敗しながら大きくなります

～結果より過程を大切に～



友だちや大人のしていることに憧れ「自分もできるようにになりたい」と、いろいろな事に挑戦します。

できたことを友だちに教える姿も見られるようになります。「出来なかったことができた」という体験が「できる力」に高まります。

他の子どもと比べたりせず、「早く」とあせらせないで、待ちましよう。繰り返しチャレンジしながら、できた時は大きな自信になります。失敗しても何回も挑戦する姿を見守り励ましましょう。



せいかつ



就学までに身につけましよう

- 早寝早起きの生活で、朝ごはんの習慣をつけましよう。
- 身の回りのことは自分でできるようにしましよう。
- 大人と一緒に経験したり共感することを大切に、

意欲的に生活ができるようにしましよう。

- 大人は子どもの話に耳を傾け親子の会話を大切にしましよう。人の話を聞く力が育ちます。





健 康



～健康な身体の基礎をつくりましょう～

乳幼児期は健康な身体の基礎を作る大切な時期です。生まれた時からさまざまな刺激を受けて成長、発達していきます。病原菌に対する抵抗力が弱く、特にこの時期はよく病気にかかります。同時に病気にかかることで抵抗力をつけていく時期でもあります。子どもが健やかに育つよう、子どもの健康を守り、丈夫な身体を作りましょう。

早寝早起きをしましょう

子どもは夜眠っている間に、脳内の温度を下げて身体を休めるホルモン「メラトニン」、成長や細胞の新生を助ける「成長ホルモン」が分泌されます。体温調節をつかさどる自律神経の動きを丈夫にするために規則正しい生活リズムが大切です。

午前7：00までには起こしましょう
朝ごはんは1日のエネルギー源です
朝の排便習慣をつけましょう

昼間の外遊びで
メリハリのある
生活を！！



午後3：00以降
の昼寝は夜の睡眠
に影響します

午後9：00頃には寝かせましょう

家庭で子どもを見守るために



子どもの体調が良くないときは親も不安になり、病院に行くべきか迷うものです。日頃から子どもの身体をよく見ておきましょう。

どこを見る？子どもの身体

- 機嫌
- 呼吸
- 顔色、唇の色
- 手足の冷たさ、爪の色



子どもの病気はほとんど急に起こり、子どもの気持ちは不安になります。家族の優しい表情が、子どもに安心感を与えます。

病院に行く前にメモをとって受診の時に持参しましょう。

- ① どんな症状か
- ② いつからか
- ③ どんな状態ではじまり
- ④ 時間とともにどう変わったか
- ⑤ どう手当てをしたか

緊急時は迷わず119番を！

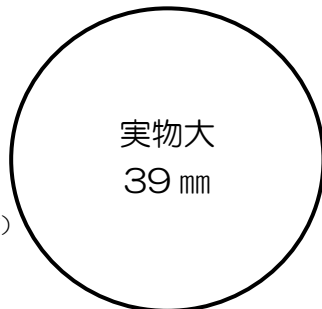


子どもの目線で家の中の安全点検を！

飲み込む危険があるおもちゃ、薬剤などは、子どもの手の届かないところに置きましょう。

直径 39 mmの円柱を通るものは誤飲や窒息の恐れがあります。

(トイレトーパーの芯の大きさぐらいです)



こんなときどうする？

のどにつまった

口の中に指を突っ込んで取り出そうとしないで背部を叩きます。

やけど

ただちに水道水やシャワーで服の上から痛みがなくなるまで（最低20分以上）やけどの部位を冷やします。急いで皮膚科又は形成外科を受診しましょう

頭を打った

大声で泣いた後、機嫌がよく普段と様子が変わらない場合は、心配はいりませんが、最低30分は安静にします。そして24～48時間は食欲、顔色に注意して様子をみます。意識がない、トロトロしてすぐ眠り込む、けいれんを起こした、出血がひどい、繰り返し嘔吐する場合は救急受診が必要です。顔色が悪く、いつまでも元気がない場合も受診しましょう。



鼻血



前傾姿勢で座らせ、10分以上鼻翼部を指で圧迫します。（鼻のまわりを冷たいタオルで冷やすと血管が収縮してより止血しやすい）いつまでも（15分以上）出血が続く、繰り返して出血する場合は受診しましょう。

刺された

ハチ 残っている針を毛抜きかピンセットで抜き、毒を出すように周囲の皮膚を圧迫して流水で洗い流します。刺された部分は冷水に浸したタオルで冷やします。

スズメバチやクマバチに刺された場合、アレルギー症状が起こった場合などは至急受診しましょう。

毛虫・毒虫 こすらないで流水で洗い流すか、セロハンテープなどでのがして毒針を抜きます。

腫れてくるなら受診しましょう。



家庭で起こりやすい誤飲物質の対応のめやす

		吐かせる？	水を 飲ませる？	受診緊急度
たばこ	たばこの葉	吐かせなく	×	！！
	灰皿の水など	てもよい		！！！！
電池	ボタン電池	×	×	！！！！
石油製品	マニユキア・除光液	×	×	！！！！
洗剤など	強酸性・強アルカリ性の洗剤 (カビとり用、トイレ用、換気扇用)	×	飲ませる	！！！！
	弱酸性・中性・弱アルカリ性の 洗剤 (台所用、洗濯用、風呂用など)	吐かせなく てもよい		！！
	漂白剤	×	！！！！	
	染毛剤		！！！！	
エタノール を含む製品	香水	吐かせなく	飲ませる	！！！！
	化粧品、ヘアトニックなど	てもよい		！！
その他	シャンプー	吐かせなく	飲ませる	！！
	石鹸	てもよい		！
	口紅、ファンデーションなどの 化粧品			！
固形物	小さなおもちゃ、食べ物など	気道をふさいでいる場合はただちに吐かせる	場合による	！！！！

！！…ただちに医療機関へ

！！…症状があれば医療機関へ

！…少量なら心配なし

量や種類によって対応が違います。誤飲物質の一部や容器があれば準備し、中毒110番や病院に相談しましょう。連絡先は最終ページを参考にしてください。



食 事



～おいしく食べよう 楽しく食べよう～

食事は丈夫な身体を作り、豊かな心も育てます。

大事にしたいこと

- おっぱい(ミルク)はゆったりとした気持ちであげましょう。赤ちゃんを抱っこして目を見ながらあげましょう。テレビやメールをしながらの授乳はやめましょう。
- 独りで食べさせないで、大人と一緒に楽しく食べましょう。マナーも身につけ、楽しい雰囲気心が育てます。
- 自分で食べたい気持ちを大切にしましょう。
- スプーンが上手に使えるようになったら、お箸を使ってみましょう。
- 外に出て身体を使ってあそび「おなかが空いた」「ご飯がおいしい」という生活をつくりましょう。 おやつ時間も決めましょう。
- 大人よりも薄味にして、だしや素材の味を生かしましょう。



- 柔らかいものだけでなく、しっかり噛むものも食べさせましょう。

どうしたらいいのかな？

食事中ウロウロするので困っています。



- 遊びだしたら「ごちそうさま」と、きりあげましょう。
- テレビがついていたり、大人が忙しく用事をしていると落ち着いて食べられません。向かい合って楽しく食べましょう。
- おやつを食べ過ぎていないか、外遊びをしているかなど考えてみましょう。



好き嫌いがあります。

- 好き嫌いは自分の意思表示です。
- 無理強いはいしないで気長に見守りましょう。
- 嫌いなものでも食卓に出して大人が美味しそうに食べる姿を見せるのもいいですね。



口の中に溜めて
飲み込めないのですが・・・

「カミカミ」「ゴクンね」などの言葉かけをしながら、大人が食べて見せましょう。
一度にたくさんの量を詰め込まないように気をつけてください。



歯ブラシを嫌がります・・・

- 嫌がる子には、食事の後にお茶を飲ませましょう。
- 好きな歌など歌って、楽しい雰囲気ですませましょう。





絵 本



～絵本は大人が読んであげましょう～

大人のひざの上に座らせて、ゆっくり読んであげましょう。



絵本は、子どものペースで好きなページをじっくり見ることができ、絵とことばからいろいろと想像できるのがいいところです。

子どもが好きな絵本は、年齢の目安にとらわれず、くり返し何度でも読んで楽しみましょう。

☆近くの図書館・児童会館・児童センター・子育て広場・
保育園・幼稚園・もご利用ください。

子どもと楽しむ絵本

(0・1歳頃)

簡単な言葉のくり返しを真似て、楽しめるような絵本が大好きです。

- *いないいないばあ (松谷みよ子 瀬川康男 童心社)
- *もこ もこもこ (谷川俊太郎 元永定正 文研出版)
- *ぴょーん (まつおかたつひで ポプラ社)
- *じゃあじゃあびりびり (まついのりこ 偕成社)
- *どんどこもんちゃん (とよたかずひこ 童心社)
- *くだもの (平山和子 福音館書店)



(2・3歳頃)

ハラハラドキドキしたり、ユーモアのある簡単なストーリーのある絵本が大好きです。

- * おおきなかぶ (A・トルストイ 佐藤忠良 福音館書店)
- * ねずみくんのチョコッキ (なかえよしを 上野紀子 ポプラ社)
- * ミびきのやぎのがらがらどん (マーシャ・ブラウン 福音館書店)
- * そうくんのさんぽ (なかのひろたか 福音館書店)
- * ころちゃんはだんごむし (高家博成 中川道子 童心社)
- * つのはなんにもならないか (きたやまようこ 偕成社)

(4・5歳頃)

人間のすばらしさ、勇気や知恵や思いやりを描いた物語の展開がある絵本が大好きです。自然や科学の本にも興味が出てきます。

- * こぎつねコンとこだぬきポン (松野正子 二俣英五郎 童心社)
- * はははのはなし (加古里子 福音館書店)
- * かいじゅうたちのいるところ (モーリス・センダック 富山房)
- * じごくのそうべい (田島征彦 童心社)
- * 11ぴきのねこ (馬場のぼる こぐま社)
- * そらまめくんのベット (なかやみわ 福音館書店)
- * スイミー (レオ・レオニ 好学社)
- * かにむかし (木下順二 清水崑 岩波書店)





にこにこ わくわく

子ども・子育てハンドブック～ 楽しく子育て ～

平成29年（2017年）3月改訂

★発行 吹田市 吹田市教育委員会

★編集 児童部 保育幼稚園室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3-40

TEL 06-6384-1231（代表）

TEL 06-6384-1568（直通）

悩んだ時は…



子育て相談



子育て青少年拠点
夢つながり未来館
6875-0665

(10時～18時)

乳幼児から青少年までの総合的な相談
に応じます。



家庭児童相談



市役所家庭児童相談課
6384-1663

(土日祝除く 9時～17時30分)

子どもに対する虐待や養育などの相談
に家庭児童相談員が応じます。

大阪府 吹田子ども家庭センター



6389-3526

0歳から18歳未満の子どもと家庭に関
する相談に応じます。

虐待通告専用電話

6389-2099

(土日祝除く 9時～17時45分)

夜間・休日虐待通告専用電話

072-295-8737

(土日祝除く 17時45分～午前9時
および土日祝、年末年始)

健康電話相談



吹田市立保健センター
6339-1218

(月・水・金 午前10時～12時)

健康・育児に関することについて保健
師が相談に応じます。



異物を飲み込んだ…中毒110番

大阪 **072-727-2499**
(24時間 無休)

つくば **029-852-9999**
(9時～21時 無休)

救急安心センターおおさか

#7119 06-6582-7119

相談員、看護師、医師が24時間、365日救急相談を受け付けします。

小児救急電話相談

#8000 06-6765-3650

看護師と保健師が小児科医の支援体制のもと20時～翌朝8時まで相談に応じます。

